聴導犬と介助犬を知っていますか？

厚生労働大臣指定法人・社会福祉法人

日本聴導犬協会

【協会の活動】1996年に宮田村で創設し、2016年には20周年を迎えました。設立当初から聴導犬・介助犬を障がいのある方へ無料貸与を実施する「障がい支援」と、主に保護犬から聴導犬を育成する「動物福祉」の2つの福祉で活動をさせていただいております。また、地元地域社会貢献活動としてPro-Dog（愛犬家）Schoolも行い、愛犬のしつけ・マナー改善を行っています。

訓練方法

犬にも人にも快いたくさん「ほめる」訓練をしています。聴導犬・介助犬の子たちはお仕事が大好きです。嬉しい時は「笑う犬」に育てています。

募金箱設置お願い

募金箱を設置いただける店舗や施設を募集しております。いただいた募金は聴導犬・介助犬そして老犬の医療費として大切に使わせていただきます。

聴導犬

耳の不自由な方に生活に必要な音（ドアベル、タイマー、ドアノック、目覚まし時計など）を身体に前足でタッチして報え、音の場所まで導くことで音を教えます。

介助犬

肢体に障がいのある方の生活の補助をします。落とした物を拾う、衣服を脱がせる、ドアの開閉などのお手伝いをします。

お問合せ　（福）日本聴導犬協会 奥嶋まで

電話：0265-85-4615 & 5290

Fax：0265-85-5088

Meil：inf@hearingdog.or.jp

◆協会の活動から日常までご覧いただけます

Facebook：https://www.facebook.com/nihonncyoudoukennkyoukai/

Twitter：https://twitter.com/nihon1chodoken

Facebook　Twitter

ご支援のお願い

宮田村にお住まいの皆様にはいつも大変お世話になっており、深く感謝を申し上げております。宮田村出身の聴導犬・介助犬を増やせるように、あたたかなお力添えを賜れますと幸甚です。聴導犬・介助犬は1頭育てるのに200万円以上かかります。協会運営には国からの補助はまったくありません。皆様からのあたたかな募金とご寄付をいただいて、運営させていただくことができております。

郵便振込み

金融機関：ゆうちょ銀行

口座名義：社会福祉法人 日本聴導犬協会

口座番号：00590-1-93275

この印刷物は、2016（平成28）年度の長野県地域発元気づくり支援金と宮田村地域づくり支援事業補助金を活用し、宮田村の景観を考える会が作成しました。

たくさんのみなさまのご支援にささえられ やさしさをいただける光栄と感謝の20年

◆◆ 英国聴導犬協会の経験を日本聴導犬協会と分かち合える ◆◆

＜日本聴導犬協会創設 20 周年記念式典のご祝辞からの抜粋＞

英国聴導犬協会（アン王女がパトロン）

会長　フェイス・クラーク（創始者：レディ・ライトのご息女）

英国聴導犬協会と日本聴導犬協会という2つのチャリティ団体は、この 20 年間共に成長してまいりました。（日本での）聴導犬育成という価値ある事業の支援ができたことは英国聴導犬協会の誇りとなっております。ブルース・フォーグル博士とトニー・ブラント、そしてジル・レイシーが共にこの協力体制を始め、幸いにもそれ以来 20 年以上にわたるこの関係が続いてまいりました。2001 年に当時 CEO のトニー・ブラントが来日し、有馬もと会長と聴導犬みかんの審査をしました。もとさんは初の英国聴導犬協会「聴導犬インストラクター国際認定」を授与され、岸本淑子さんの聴導犬みかんに聴導犬としては、初の「国際認定」が授与されました。聴導犬みかんは日本聴導犬協会の初（2000 年）の聴導犬であり、日本初の公共交通機関（JR 西日本）乗車試験に合格した聴導犬です。英国聴導犬協会からは何回か訓練士を派遣すると共に、日本聴導犬協会の訓練スタッフを受け入れてきました。英国聴導犬協会の経験を日本聴導犬協会と分かち合えることを嬉しく思っております。また日本聴導犬協会の協会犬たちが聴覚障がい支援となる素晴らしい訓練を受けていることも大きな喜びです。今後とも長い年月に渡ってこの関係が続くよう願います。

◆◆ 障がい支援と保護犬救済へのご理解とご支援 ◆◆

ADI(国際アシスタンスドッグ協会)認定団体　厚生労働大臣指定法人

社会福祉法人　日本聴導犬協会　会長　有馬もと PhD

創設 20 周年は、みなさまのお力添えの賜物です。深く感謝申し上げます。思い返せば、1996 年4月。当時の伊那保健所長・小林美智子先生から「『犬殺し、猫殺し』という保健所の汚名払拭の方法はありますか？」の問いに、大学院留学中に訪問した英国聴導犬協会での「保護犬で聴覚障がいのある方を助ける聴導犬育成」について有馬がお話しました。「良いことだから始めましょう」という小林所長からの一言で、その年の 10 月に日本聴導犬協会は地元ボランティアさんと共に「ボランティア団体」として発足。様々な紆余曲折がありましたが、全国の多くのみなさまの「障がい支援」と「保護犬救済」へのご理解とご支援をいただくことで、20 周年を迎えられました。

日本全国での活動中聴導犬 73 頭。介助犬は 70 頭になります。まだまだ少なく課題が多い状況ですが、聴導犬・介助犬育成と共に、ほじょ犬ユーザーがインストラクターとなって次の希望者の支援をする「ユーザー・インストラクター養成事業」など、障がい支援を基軸に活動を続けてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

日本聴導犬協会創設
1996 年からの 20 年の
軌跡

■受賞：

2001 年 10 月　NPO 法人グランプリ受賞（日本青年会議所 50 周年事業 NPO アワード in おおさか）
11 月　中日新聞「社会功労賞」受賞（会長 有馬もとに対して）
2004 年 6 月　ザ・ワンダフル・サード・エイジ団体部門賞入賞
10 月　第1回日本動物愛護賞 選考委員会特別賞受賞（愛犬の友）
2005 年 2 月　伊那ロータリークラブ創立 45 周年記念 特別顕彰受賞
2013 年 5 月　日本動物愛護協会 動物大賞により聴導犬みかんが「功労動物賞」を受賞
2016 年 10 月　信濃毎日新聞社「信毎選賞」受賞

■歴任：

英語圏外初！ ADI（国際アシスタンス・ドッグ協会：
当時世界 86 育成団体加盟）理事に就任
ADJ（アシスタンス・ドッグス・ジャパン） 創設及び会長
厚生労働省 介助犬及び聴導犬訓練等の検討委員会委員
国立障害者リハビリテーションセンター学院での聴導犬・介助犬訓練士研修会講師
兵庫県立総合リハビリテーションセンター 「聴導犬認定試験」認定委員
長野県障害者施策協議会委員
兵庫県「補助犬審査委員」
非常勤講師： 台湾国立 屏東科技大学獣医科学学部（2013 年のみ）、帝科学大学アニマルサイエンス学科、愛知医療学院短期大学、大阪 ECO 動物海洋専門学校（2006～2016）など

■歴史：

1996 年 10 月　日本初！ 行政（伊那保健所）の推進と英国聴導犬協会（後援：アン王女）の指導を受け創立／ 常勤スタッフを置き任意団体として正式活動開始
1997 年 10 月　ADI（国際アシスタンス・ドッグ協会：世界 76 育成団体加盟）に参加
2000 年 1 月　ADI の正式メンバー登録
2000 年 11 月　「聴導犬みかん」英国聴導犬協会より聴導犬国際認定試験に合格
11 月　「会長有馬」英国聴導犬協会より聴導犬インストラクター国際認定試験に合格
12 月　NPO 法人認証 （内閣府より）
2001 年 2 月　日本初！「聴導犬みかん」が公的交通機関（JR 西日本）の同伴試験合格
4 月　日本初！行政（長野県）から聴導犬育成事業の依託
8 月　日本初！「聴導犬かよ」が航空 3 社の搭乗試験に合格
2003 年 8 月　日本初！「多目的補助犬（聴導犬＋介助犬の働き）」しろ貸与（長野県委託金第1号）
9 月　社会福祉法人認可（長野県より）
2004 年 1 月　厚生労働大臣指定法人（聴導犬と介助犬の「訓練」と「認定」事業）認可
4 月　（福）日本聴導犬協会 第 1 回認定試験実施

写真説明（上から）：①旧日本聴導犬協会（元松下歯科） ②代表犬クロとタカ ③元伊那保健松本所課長と英国聴導犬協会.ブルース・フォーグル副会長 ④2001 年 NPO グランプリ授賞式＆中日社会功労賞受賞 ⑥英国聴導犬協会 CEO ブラント氏による聴導犬みかんと岸本頼子さん国際認定合格 ⑦厚労書に 8 万通の署名提出 ⑧第1回「国際補助犬パートナーズ会議にて

8 月　聴導犬育ての TV ドラマ・愛の劇場「すずがくれた音」
（TBS 系列・平日 30 分・全 30 回）放送開始
9 月　（福）日本聴導犬協会 第 2 回認定試験実施
10 月　主催＆総合プロデュース：NHK ハートフォーラム
「ニッポンの子どもたちと補助犬ユーザーとのあったか討論会」
第 1 回 「国際補助犬パートナーズ会議 in ユニバーサルシティ 松本」
しつけムック「うちの犬をおりこう犬にしよう！」学習研究社から発行
しつけムック「うちの犬とおでかけ上手になろう！」学習研究社から発行
2005 年 4 月　総合プロデュース：長野県委託事業 「補助犬ユーザーのための研修会」
6 月　長野県 障害者施策協議会委員に就任
2006 年 1 月　日本初！ ADI（世界で 22 番目に）認定試験団体合格
4 月　英語圏外初！会長有馬が ADI 国際認定聴導犬・介助犬インストラクター認証
11 月　講師：大阪コミュニケーションアート専門学校で講義開始
2007 年 5 月　ADJ（日本 10 団体加盟） 研修会実施
2008 年 2 月　沖縄初！ 聴導犬「まつ」貸与＆兵庫県補助犬ユーザー審査委員
3 月　東京事務所 （八王子市）オープン
兵庫県初！聴導犬「いこ」貸与
5 月　関西事務所（兵庫県芦屋市）オープン
9 月　日本初！「タンデム聴導犬（しん）」認定試験合格
新施設「日本聴導犬協会 元気いっぱい聴導犬・介助犬訓練センター」竣工
（ご支援者 330 人様と JKA ならびに日本宝くじ協会からのご温情）
2009 年 2 月　「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」創設
日本聴導犬・介助犬訓練士学院の寮を竣工
2010 年 10 月　厚生労働省 関東信越厚生局長所管の社福祉法人
事務局＆総合プロデュース：第 2 回 「国際補助犬パートナーズ会議
in 兵庫」芦屋市＆三ノ宮で「ほじょ犬＆ほじょ犬応援犬パレード
2011 年 6 月　国際協力：台湾での「第 1 号聴導犬」の認定試験実施
国際協力：台湾屏東科技大学作業犬部指導訪問
2012 年 4 月～　国際協力：台湾での聴導犬普及に
聴導犬しんと全日本聴導犬ユーザーの会会長岸本宗也同行
2012 年 9 月　国際協力：台湾屏東科技大学作業犬部からの研修生 3 名受入れ
2013 年 6 月　ADI 国際認定 更新試験に合格
平成 25 年度年賀寄付助成：「聴導犬ユーザーによる 全国聴導犬
普及キャラバン」（全国 17 都道府県 19 カ所） 実施
2013 年 10 月　国際協力：屏東科技大学作業犬部に指導のため招台
国際協力：屏東科技大学獣医科学学部 非常勤講師就任
2015 年 6 月　総合プロデュース：2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」in 松本
盲導犬使用者前野弘美氏と会長有馬もと
2016 年 12 月　三陸（石川県）初の聴導犬みみ姫貸与
信濃毎日新聞社「信毎選賞」受賞
2017 年 1 月　事務局＆総合プロデュース：第 2 回 2016「全国身体障害者ほじょ犬サミット」
東京（衆議院会館）＆皇居周辺「ほじょ犬パレード」
2017 年 9 月～　東京オリンピック＆パラリンピックを目的とする「海外からの聴導犬＆介助犬
ユーザー」の入国時の仮認定書の発行を実施

写真説明（上から）①ADI(国際アシスタンスドッグ協会)認定書授与式、②高円宮妃殿下の御前で聴導犬説明 ③会長有馬が ADI 理事に就任 ④2009 年～ 日本聴導犬・介助犬訓練士学院開校 ⑤2008 年竣工式には陳建一などグレートシェフが応援 ⑥メモリアル落慶法要 ⑦日本聴導犬協会 ⑧聴導犬みかん